

## 平成 30 年度 事業 報告

「みんなの健康を守る」を理念とし、公益財団法人として県民の疾病予防と健康の保持増進に努めるべく各種健診・検査事業及び普及・啓発事業を積極的に推進した結果、平成 30 年度事業は、順調に推移した。

職域・地域保健分野においては、54 団体を新規受託することができた。また、人間ドック、所内健診など施設型健診の需要増加に対応するための体制を整えたことで、県民の健診機会の拡大を図ることができた。

設備投資においては、胸部・胃部併用 X 線デジタル検診車を 1 台導入したほか解析付心電計などの機器の更新を計画的に推進し、健診検査の精度向上を図った。

平成 30 年度の協会の業務執行状況については、次のとおりである。

### I. 業務執行状況

#### 1 役員会等の開催

- ・平成 30 年度 第1回理事会(平成 30 年 6 月 7 日)

決議事項／平成 29 年度事業報告、平成 29 年度収支決算、資産取得資金の取崩し、計画変更及び新規保有について、理事の任期満了に伴う選任候補者について、平成 30 年度定時評議員会の開催

報告事項／代表理事、執行理事の業務報告事項

出席等／理事現在数 10 名、出席理事 8 名、欠席 2 名。監事出席 1 名。

---

- ・平成 30 年度 定時評議員会(平成 30 年 6 月 28 日)

決議事項／平成 29 年度事業報告、平成 29 年度収支決算、理事の選任について、任期満了に伴う理事の選任報告事項／資産取得資金の取り崩し、計画変更及び新規保有について

出席等／評議員現在数 10 名、出席評議員 9 名、欠席 1 名。監事出席 2 名。

---

- ・平成 30 年度 第2回理事会(平成 30 年 6 月 20 日)

決議事項／静岡事務所の移転先用地の購入について

同意書／理事現在数 10 名、書面提出理事 10 名。確認書／監事現在数 2 名、書面提出監事 2 名。

---

- ・平成 30 年度 第3回理事会(平成 30 年 7 月 11 日)

決議事項／理事長 1 名選定の件、専務理事 1 名選定の件、常務理事 1 名選定の件

同意書／理事現在数 10 名、書面提出理事 10 名。確認書／監事現在数 2 名、書面提出監事 2 名。

---

- ・平成 30 年度 第4回理事会(平成 31 年 3 月 14 日)

決議事項／平成 31 年度事業計画案、平成 31 年度収支予算案、資金調達及び設備投資の見込みについて報告事項／代表理事、執行理事の業務報告事項

出席等／評議員現在数 10 名、出席評議員 9 名、欠席 1 名。監事出席 2 名。

---

- ・平成 30 年度 第1回臨時定時評議員会(平成 31 年 3 月 22 日)

決議事項／評議員候補者の推薦

同意書／評議員現在数 10 名、書面提出評議員 10 名。

---

- ・平成 30 年度 第1回評議員選定委員会(平成 31 年 3 月 26 日)

決議事項／評議員の選任

出席等／評議員選定委員現在数 5 名、出席評議員選定委員 5 名、理事出席 2 名。

## 2 運営会議（毎月一回）の開催

平成30年4月23日、平成30年5月21日、平成30年6月25日、平成30年7月24日、平成30年8月27日、平成30年9月25日、平成30年10月29日、平成30年11月26日、平成30年12月18日、平成31年1月28日、平成31年2月25日、平成31年3月25日

会議内容／事業の推進及び経営上の重要事項等の協議、他

出席者／専務理事、常務理事及び協会幹部職員。

## II. 予防医学事業

### 1 母子保健分野における健診・検査（母子保健）

静岡県、静岡市、浜松市からの委託事業による新生児に対する先天性代謝異常症検査(タンデムマス法)、ガラクトース血症検査、先天性副腎過形成症検査、先天性甲状腺機能低下症検査を実施した。

母子保健 検査実施状況

項目	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	件数	前年比%	件数	前年比%	件数	前年比%
先天性代謝異常症検査	28,951	95.9	27,622	95.4	26,450	95.8
ガラクトース血症検査	28,951	95.9	27,622	95.4	26,450	95.8
先天性副腎過形成症検査	28,951	95.9	27,622	95.4	26,450	95.8
先天性甲状腺機能低下症検査	28,951	95.9	27,622	95.4	26,450	95.8

### 2 学校保健分野における健診・検査（学校保健）

#### (1) 腎臓、糖尿病健診

保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、特別支援学校等の児童、生徒、学生の全学年を対象に腎臓病健診及び糖尿病健診を実施した。

#### (2) 心臓病健診

小学校、中学校、高等学校の1年生を主に心臓病健診を実施した。

#### (3) 貧血検査

小学校、中学校、高等学校及び専門学校、特別支援学校の生徒を対象に貧血検査を実施した。

#### (4) 脊柱側弯症検査

小学校、中学校生徒を対象に脊柱側弯症検査を実施した。

#### (5) 生活習慣病予防健診

小学校高学年、中学校1年生及び高等学校1年生を主に生活習慣病予防健診を実施した。

#### (6) 寄生虫検査

保育園、幼稚園の園児を対象に蟯虫検査を実施した。

#### (7) 聴力検査、血圧検査

小学校1・2・3・5年生、中学校及び高等学校1・3年生を主に聴力検査及び血圧検査を実施した。

学校保健 健診・検査実施状況

年 度 項 目	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	件 数	前年比%	件 数	前年比%	件 数	前年比%
腎 臓 検 診	243,095	96.9	241,515	99.4	238,802	98.9
糖 尿 病 検 診	243,095	96.9	241,515	99.4	238,802	98.9
心 臓 病 検 診	68,871	97.5	69,987	101.6	72,267	103.3
貧 血 検 査	40,623	88.9	39,938	98.3	35,872	89.8
脊 柱 側 わ ん 症 検 査	9,149	96.5	9,072	99.2	8,389	92.5
生活習慣病予防健診	7,995	94.5	7,369	92.2	4,812	65.3
寄生虫検査（糞便）	0	-	0	-	0	-
” （蟯虫）	32,077	30.4	5,725	17.8	144	2.5
聴 力 検 査	36,523	103.0	36,609	100.2	35,099	95.9
血 圧 測 定	1,148	96.5	1,256	109.4	1,236	98.4
計	439,481	83.4	411,471	93.6	396,621	96.4

3 職域保健分野における健診・検査（職域保健）

(1) 定期健康診断、雇入時健康診断

企業等の従業員に対する労働安全衛生法に基づく定期健康診断及び雇い入れ時に行う雇入時健康診断を実施した。

(2) 特殊健康診断

有機溶剤、鉛、電離放射線、特定化学物質、粉じん等の業務従事者に対する健康診断及び行政指導によるVDT及び重量物等を取り扱う者に対する頸肩腕、腰痛等の健康診断を実施した。

(3) 特定健診・特定保健指導

「特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準」（厚生労働省）に基づき実施した。

(4) 胃がん検診

X線撮影による胃がん検診を実施した。

(5) 肺がん検診

X線撮影及び喀痰細胞診による肺がん検診を実施した。

(6) 大腸がん検診

便潜血反応検査による大腸がん検診を実施した。

(7) 子宮頸がん検診

細胞診による子宮頸がん検診を実施した。

(8) 乳がん検診

超音波、マンモグラフィによる乳がん検診を実施した。

(9) 前立腺がん検査

血液検査による前立腺がん検査を実施した。

(10) ストレスチェック

問診票（59項目）によるストレスチェックを実施した。

(11) その他検査

その他として、寄生虫検査を実施した。

産業医業務として、安全衛生委員会への出席及び職場巡視を実施した。

職域保健 健診・検査実施状況

年 度 項 目	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	件 数	前年比%	件 数	前年比%	件 数	前年比%
定 期 健 康 診 断	146,412	102.2	154,783	105.7	156,983	101.4
定期健診(内 特定健診)	(57,721)		(65,653)		(98,642)	
雇 入 時 健 康 診 断	2,064	97.5	2,086	101.1	2,499	119.8
特 殊 健 康 診 断	35,679	117.1	34,519	96.7	37,796	109.5
特定健診(被扶養者対象)	4,466	105.5	5,094	114.1	4,799	94.2
特 定 保 健 指 導	1,262	99.0	1,077	85.3	1,114	103.4
胃 が ん 検 診	25,550	97.6	24,297	95.1	24,356	100.2
肺 が ん 検 診	115,611	100.8	121,374	105.0	120,164	99.0
大 腸 が ん 検 診	52,552	102.1	54,020	102.8	55,582	102.9
子 宮 頸 が ん 検 診	4,585	125.0	4,508	98.3	4,783	106.1
乳 が ん 検 診	3,982	100.2	5,142	129.1	5,469	106.4
前立腺がん検査	2,583	111.3	2,642	102.3	2,706	102.4
ス ト レ ス チ ェ ッ ク	27,676	-	39,160	141.5	26,621	68.0
寄 生 虫 検 査	442	74.0	192	43.4	278	144.8
計	422,864	110.0	448,894	106.2	443,150	98.7

※ 定期健診(内 特定健診)は、定期健康診断(労働安全衛生法に基づいた事業所の労働者を対象とした健診)の実施件数の内、特定健診(年度末年齢40歳から74歳を対象)に相当する実施件数です。

#### 4 地域保健分野における健診・検査(地域保健)

##### 1) 住民健診

###### (1) 特定健診・特定保健指導

「特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準」(厚生労働省)に基づき実施した。

###### (2) 胃がん検診

X線撮影による胃がん検診を実施した。

###### (3) 胃がんリスク検診

血液検査による胃がんリスク検診を実施した。

###### (4) 肺がん検診

X線撮影及び喀痰細胞診による肺がん検診を実施した。

###### (5) 大腸がん検診

便潜血反応検査による大腸がん検診を実施した。

###### (6) 子宮頸がん検診

細胞診による子宮頸がん検診を実施した。

###### (7) 乳がん検診

超音波、マンモグラフィによる乳がん検診を実施した。

###### (8) 前立腺がん検査

血液検査による前立腺がん検査を実施した。

###### (9) その他検査

骨粗鬆症検査を実施した。

地域保健 健診・検査実施状況

年 度 項 目	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	件 数	前年比%	件 数	前年比%	件 数	前年比%
特 定 健 診	5,436	107.5	5,558	102.2	5,315	95.6
特 定 保 健 指 導	-	-	-	-	139	-
胃 が ん 検 診	6,611	92.1	6,336	95.8	5,849	92.3
胃 が ん リ ス ク 検 診	1,233	96.3	1,256	101.9	722	57.5
肺 が ん 検 診	15,919	106.1	15,454	97.1	15,229	98.5
大 腸 が ん 検 診	12,684	92.2	12,686	100.0	12,555	99.0
子 宮 頸 が ん 検 診	6,479	99.1	6,320	97.5	7,129	112.8
乳 が ん 検 診	7,553	110.1	7,378	97.7	7,986	108.2
前 立 腺 が ん 検 査	2,780	97.3	2,888	103.9	2,803	97.1
骨 粗 鬆 症 検 査	1,677	86.7	1,659	98.9	1,897	114.3
計	60,372	99.9	59,535	98.6	59,624	100.1

2) 総合健診（人間ドック）

(1) 基本ドック

人間ドック学会、健保連の基準項目に協会独自の項目を追加し、実施した。

(2) 脳ドック

脳 MRI（断層像）・MRA（血管像）と頸部 MRA（血管像）の健診を行った。また、脳ドック A コースでは人間ドックの検査項目に準じた健診を実施した。

(3) 婦人科検診

子宮がんに対し内診、細胞診、乳がんに対してマンモグラフィ等による検診を実施した。

(4) 骨ドック

前腕の骨密度検査を実施した。

(5) その他の検診

① オプションとして以下の検査を実施した。

〔動脈硬化度測定、寄生虫検査、前立腺がん検査（PSA）、男性・女性腫瘍マーカー検査、甲状腺検査、ピロリ菌検査、胃カメラ、腹部 CT 検査、ヘリカル CT 検査、頸部 IMT、大腸 CT 検査など〕

② 生活習慣病予防健診

③ 定期健康診断

(6) 二次検査

以下の検査を実施した。

〔胃カメラ、乳房超音波、心臓超音波、ホルター心電図、血液・尿二次検査、ヘリカル CT など〕

(7) その他

当協会ホームページを利用した人間ドックの予約申込サービスを実施した。

総合健診センター 健診事業実施状況

年 度 項 目	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	件 数	前年比%	件 数	前年比%	件 数	前年比%
基 本 ド ッ ク	11,587	105.3	12,153	104.9	12,544	103.2
脳ドック（A）	87	107.4	73	83.9	70	95.9
脳ドック（B）	1,873	107.3	1,909	101.9	1,873	98.1
婦 人 科 検 診	6,558	108.3	6,396	97.5	6,357	99.4
骨 ド ッ ク	580	91.5	531	91.6	541	101.9
特 定 保 健 指 導	132	90.4	78	59.1	104	133.3
そ の 他 の 検 診	2,991	109.2	2,625	87.8	2,625	100.0
二 次 検 査	2,336	70.7	1,922	82.3	1,948	101.4
計	26,144	101.7	25,687	98.3	26,062	101.5

### 3) 諸検査

#### (1) 細菌検査

法により義務付けられている集団給食、食品営業及び水道施設関係従事者に対し、腸内細菌、腸管系病原菌等の検査を実施した。

#### (2) 血清学的検査

B型肝炎抗原抗体検査及びC型肝炎ウイルス検査を実施した。

#### (3) その他

学校生徒の血液（血清鉄、総コレステロール等）の検査及び事業所等からのその他検査を実施した。

#### 諸検査 実施状況

項目	年度	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
		件数	前年比%	件数	前年比%	件数	前年比%
細菌検査		72,668	114.0	66,569	91.6	72,509	108.9
血清学的検査		37,718	91.9	36,617	97.1	38,923	106.3
その他		10,619	87.3	11,187	105.3	11,189	100.0
計		121,005	103.5	114,373	94.5	122,621	107.2

※件数は検査項目数を計上

### 5 健診・検査結果に基づいた保健・栄養・運動指導等の健康づくり支援（保健栄養運動指導）

健康保険組合員、共済組合員等に対し、運動指導、健康講話等を実施した。

#### 保健栄養運動指導 実施状況

項目	年度	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
		件数	前年比%	件数	前年比%	件数	前年比%
運動指導		30(0)	-	289(0)	963.3(-)	505(0)	174.7(-)
健康講話		239(0)	85.4(-)	1,325(2)	554.4(-)	840(160)	63.4(-)
保健相談		1,375(835)	89.6(97.3)	1,518(924)	110.4(110.7)	1,855(1,103)	122.2(119.4)
栄養相談		861(861)	106.7(106.7)	749(749)	87.0(87.0)	557(557)	74.4(74.4)
計		2,505(1,696)	95.6(100.1)	3,881(1,675)	154.9(98.8)	3,757(1,820)	96.8(108.7)

## 6 広報紙や研修会等による疾病予防、健康増進に関する知識の普及・啓発（健康啓発・健康教育）

予防医学・保健事業の普及を図るため、講演会の開催、広報誌の発行、啓発紙の配布等の事業を実施した。

### （1）講演会の開催

講演会名	開催年月	概要	参加人員
学校保健セミナー	30年10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演題 「学校現場でできる子どものケガへの応急対応」</li> <li>・講師 静岡県立こども病院看護部 小児救急看護認定看護師 塩崎 麻那子 氏</li> <li>・対象 学校養護教諭、一般県民等</li> <li>・会場 静岡県男女共同参画センター あざれあ</li> </ul>	154
	31年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演題 「続・気になる子どもへの対応」</li> <li>・講師 常葉大学保育学部講師 赤塚 めぐみ 氏</li> <li>・対象 学校養護教諭、一般県民等</li> <li>・会場 静岡県男女共同参画センター あざれあ</li> </ul>	102
産業保健セミナー	30年11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演題 「ストレスチェックを職場環境改善につなげよう」</li> <li>・講師 アールエイチ産業医事務所代表 足立 留美子 氏</li> <li>・対象 企業等保健衛生担当者、一般県民等</li> <li>・会場 静岡県男女共同参画センター あざれあ</li> </ul>	62

### （2）広報、啓発資料の配布等

- ① 事業年報 1,000 部
- ② 広報紙「けんこう静岡」 14,000 部
- ③ 予防医学ジャーナル 864 部
- ④ 業務案内 200 部
- ⑤ インターネット（ホームページ）への情報掲載

## 7 健診検査データを利用した予防医学に関する調査研究（調査研究事業）

次の調査研究を実施した。

- （1）健診検査データの活用による調査研究と健康づくりのための情報提供
- （2）学童尿および学童心電図における統計調査
- （3）がん検診におけるプロセス指標
- （4）予防医学技術研究会議での調査研究

## 8 その他当協会の目的を達成するために必要な事業（その他目的を達成するために必要な事業）

### （1）機器の整備等

住民・企業健診の新たなニーズ及び現有機器の老朽化等に対応するため、以下の機器等を購入した。

	品 名	金 額（税別、千円）
機器等の整備	胸部・胃部併用 X 線検診車	64,000 千円
	解析付心電計 6 台	13,148 千円
	便潜血自動分析装置	3,220 千円
	眼底カメラ(デジタル)	2,500 千円
	眼圧計	1,600 千円

### （2）職員の資質、検査技術の向上

日本医師会、予防医学事業中央会、全国労働衛生団体連合会、日本総合健診医学会等が開催する研修会、研究会、講習会等に積極的に参加し、職員の資質及び検査技術の向上に努めた。また、医療制度改革にともなう諸課題へ対応していくための勉強会を積極的に実施した。

### （3）関係機関との連携等

県健康福祉部、県・市町教育委員会、県・郡市医師会、静岡県結核予防会、予防医学事業中央会、全国労働衛生団体連合会、健康教育推進本部等の関係機関との緊密な連携を図り、円滑な事業の推進に努めた。

なお、30 年度も県健康福祉部疾病対策課からの依頼を受けて、ハンセン病関連業務を実施した。



## 平成 30 年度 附 属 明 細 書

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

## 報告事項 広報紙「けんこう静岡」の発行

### 第133号 平成30年4月1日発行

巻頭「いきいきした職場はどうやってつくるの？」

ジヤトコ株式会社安全健康管理部 統括産業医 西 賢一郎 氏

- ・保健指導担当職員による生活習慣改善コラム 「ロコモを予防しましょう！」
- ・ヘルスポートだより「午後の時間帯に胃カメラ検査が受けられます」
- ・健康診断の検査項目について (Vol.8)
- ・第三期特定健診・特定保健指導について
- ・高田主任が予防医学事業中央会奨励賞を受賞

### 第134号 平成30年7月1日発行

巻頭「がんの予防のために生活習慣の改善を、がんの早期発見のためにがん検診受診を」

～第3次静岡県がん対策推進計画が今年度よりスタートします～

静岡県健康福祉部医療健康局疾病対策課長 後藤 幹生 氏

- ・保健指導担当職員による生活習慣改善コラム 「熱中症とは？その予防方法！」
- ・ヘルスポートだより「平成30年度協会けんぽ加入者の女性の皆様へ レディース オールインワン検診 (婦人科検診のお知らせ)」
- ・健康診断の検査項目について (Vol.9)
- ・大畑課長補佐が、第51回予防医学技術研究会議で「ものわすれドック」を口頭発表

### 第135号 平成30年10月1日発行

巻頭「私なりの健康長寿の秘訣とは」

86歳にして現役スイマー神谷正保氏（マスターズ水泳界のカリスマ的存在）と当協会石黒顧問が対談

- ・保健指導担当職員による生活習慣改善コラム 「できることから実行しよう！高尿酸血症の予防と改善」
- ・ヘルスポートだより『人間ドックの結果説明までの待ち時間に「ミニ健康講話」開催中』
- ・健康診断の検査項目について (Vol.10)
- ・胃・胸部X線デジタル検診車の整備（浜松健診センター）
- ・池田部長が（公社）全国労働衛生団体連合会功績賞を受賞

### 第136号 平成31年1月1日発行

巻頭「新年を迎えて」

理事長 横田 通夫

- ・知事年頭挨拶 静岡県知事 川勝 平太 氏
- ・保健指導担当職員による生活習慣改善コラム 「手洗いでノロウイルスの感染を防ごう！」
- ・ヘルスポートだより「ゆったりした空間でリラックスして健診を受けてみませんか」
- ・健康診断の検査項目について (Vol.11)
- ・加藤常務理事が予防医学事業中央会賞（小宮記念賞）、入山係長が奨励賞を受賞
- ・小林課長に人命救助で静岡市消防局長表彰

## 予防医学技術研究会議での調査研究

第 53 回予防医学技術研究会議（茨城県）

平成 31 年 2 月 7 日(木) ～ 平成 31 年 2 月 8 日(金)

### 1、当施設における大腸CT検査の現状

－大腸CT用経口造影剤を使用したタギング法を用いての取り組み－

大腸がんは、近年急速に増えつつある疾患であり、死亡数、罹患数共に増加傾向にある。当施設では、受診者にとって大腸内視鏡検査よりも低侵襲で受容性が高いというメリットがある大腸CT検査を 2012 年から導入している。2016 年 6 月に、大腸CT用経口造影剤（コロنفォート）が国内初の薬事承認を受けた事に伴い、同年 12 月より造影剤を使用したタギング（便標識）法を取り入れて検査を行っている。タギング法導入後、検査精度は要精検率、精検受診率ともに許容値を超え良好な結果が得られている。今回はその検査方法や前処置での問題点、今後の大腸がん検診の受診率向上に向けた取り組み等についての報告を行った。

### 2、翼状針・非浸襲ヘモグロビン推定値測定器導入による採血トラブル防止への取り組み

近年、採血によるトラブルは健診機関にとって大きな負担となっており、ケースによっては長期間の対応になるなど問題となっている。そこで、当協会では、学校貧血検査において、針が短いことから神経血管損傷や合併症のリスクが減ったり、見た目にも恐怖心が軽減されると言われている翼状針と、針を見ると泣き出してしまう採血困難者には、非浸襲ヘモグロビン推定値測定器を使用した。翼状針の使用で採血時間の増加が心配されたが、予め検診時間を長めに設定し、児童生徒数が多い学校には採血スタッフを増員し、予定時間内に終了することができた。非浸襲ヘモグロビン推定値測定器はあくまでも参考値での報告となるが、次年度以降も、採血困難な児童生徒に対し使用の検討を促していきたい事を報告した。